

果実の直径を測定する三重県中央農業改良普及センター担当者



た。同JA担当者は「7月に適度に雨が降ったこともあり、順調に肥大が進んでいる。今後好天が続けば、糖度が高くなると予測される。生産者らには7月下旬から始まる収穫に向け、引き続き管理を続けてほしい」と話す。

同JA管内では19人の部会員が約6畝で栽培している。(三重・伊勢)

天候に恵まれ おいしい梨へ

三重・JA伊勢

三重県のJA伊勢梨部会は6月下旬と7月上旬の2日間、伊勢市と玉城町の梨園地で肥大調査をした。

調査では、同JA担当者と県中央農業改良普及センターの担当者が、8カ所の梨園地を回り生育状況を確認。ノギスを使って果実の直径を測定した。

本年度産は適度に雨が降ったことで順調に生育し